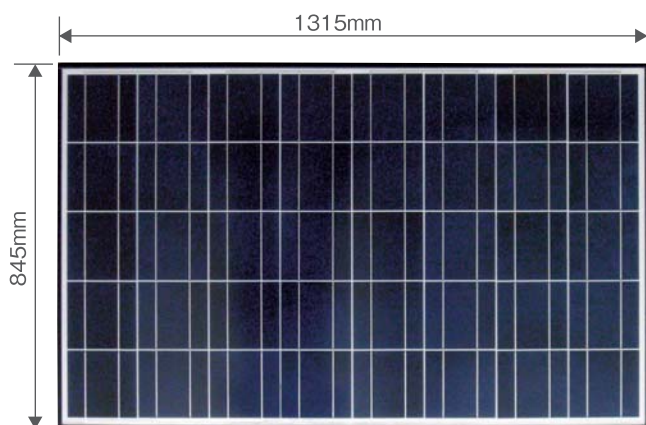


新発売 コンパクトサイズで満足できる発電量が魅力!!

あおSoLAR(あおぞら)PFQシリーズ登場!!

さまざまな住宅屋根への設置を可能にするコンパクトサイズに仕上げました。
 最大出力「155W」※1、世界的に普及している6インチ多結晶セルを使用しており、コストパフォーマンスにも優れています。
 また、フレーム※2は太陽電池モジュールとしては世界最高レベルの強度を誇り、住宅屋根にガッチリ取付できます。



■電気的特性【PFQ155-A21BW】

最大出力	155W
最大出力動作電圧	19.6V
最大出力動作電流	7.91A
開放電圧	24.5V
短絡電流	8.72A
変換効率	13.9%
最大逆電流	10A

※1 最大出力「155W」(2011年5月現在)

※2 PFQシリーズに限らずYOCASOL製太陽電池モジュールは全て世界最高レベルの強度を誇るフレームを使用しております。

従来品システム

従来タイプ設置の場合、屋根形状によっては設置面積が限られ発電量が少なくなってしまう事があります。

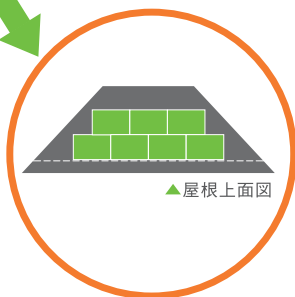
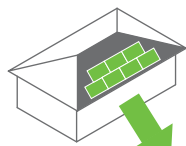
新商品システム

太陽電池モジュールのサイズを小さくした事により屋根への充填率が上がり、システム容量のアップを実現できます。
 (*屋根材、屋根形状により設置できない場合がございます。)

寄棟の場合

従来品 (PCAタイプ)

1.47kW

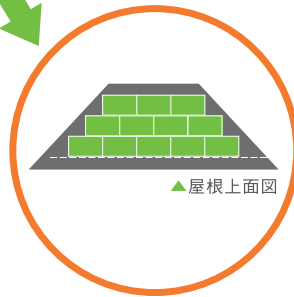
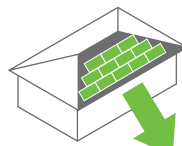


設置可能出力
約26%
アップ

小型化+高出力

新商品 (PFQタイプ)

1.86kW



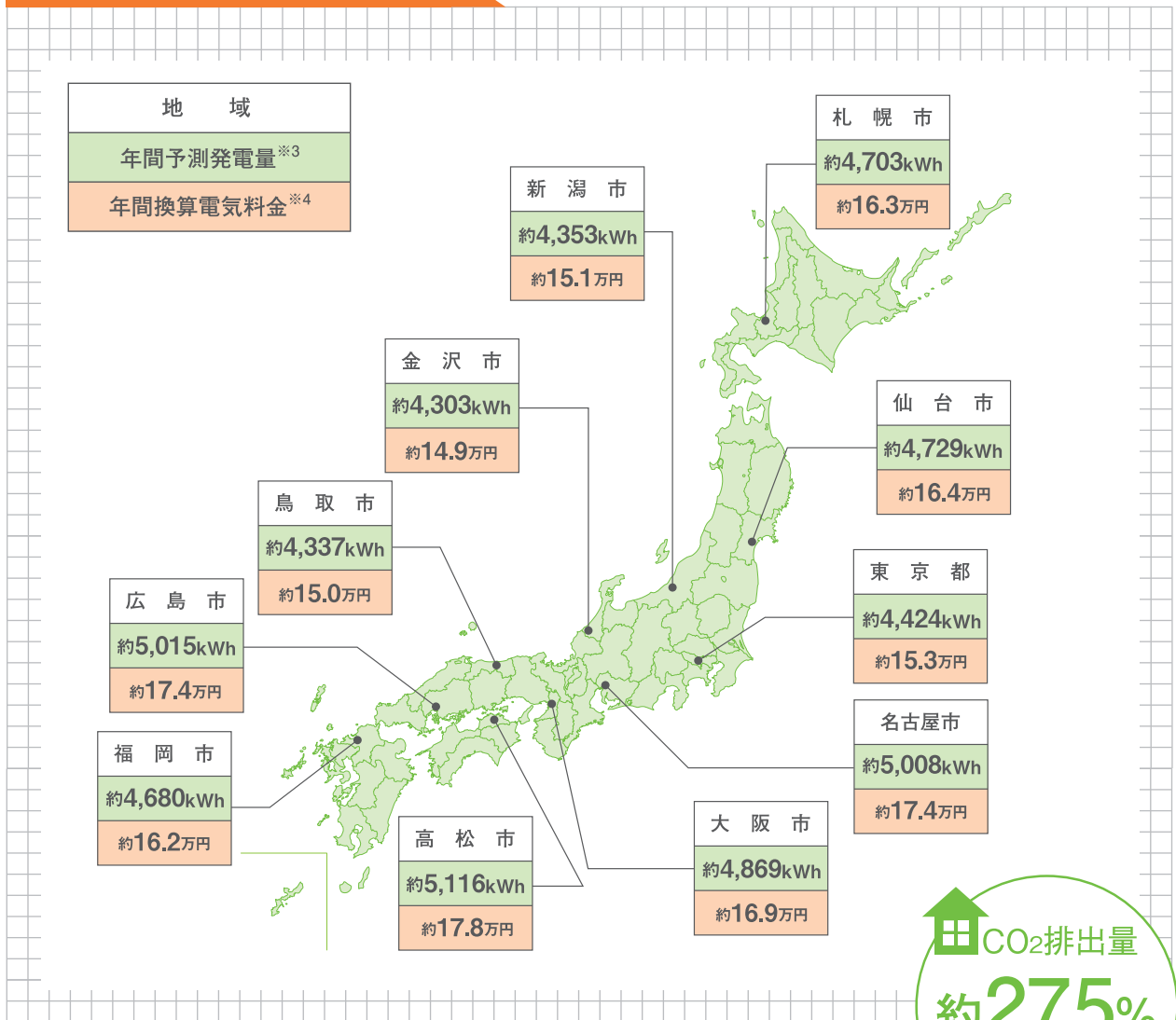
(※当社比)

- ・各太陽電池モジュールの電気的特性は、標準試験条件(STC)における数値となります。【放射照度:1000W/m²、分光分布:AM1.5、セル温度:25℃】
- ・製品のデータシートについては、当社HPでご確認いただけます。
- ・上記シリーズには掲載している以外の出力もご用意しております。詳細に関しましては、販売店までお問い合わせください。

全国各地での年間予測発電量

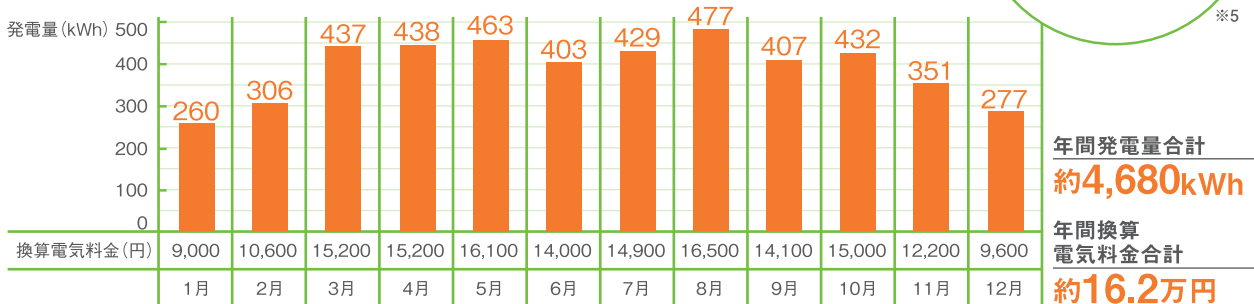
地理的条件や気候条件の違いにより、地域ごとに得られる発電量は異なります。

測定条件 4.34kWシステムの場合



CO₂排出量
約27.5%
削減^{※5}

福岡市年間予測発電量(約4,680kWh)を月ごとに見てみると...



※3 算出条件は次の通り。設置方位：真南、設置角度：30度、太陽電池：PFQ155-A21BW(28枚)

※4 算出条件は次の通り。発電量の自家消費量と売電量の比率は40:60とし、それぞれの単価は24円/kWh、42円/kWhで算出。

※5 CO₂排出量削減数値算出例として、福岡市の年間予測発電量より計算。

年間予測発電量4680kWh×発電電力量1kWhあたりの二酸化炭素削減効果314.5g-CO₂/kWh÷日本の平均的な1世帯から出る年間温室効果ガス排出量5350kg^{*}=CO₂排出量約27.5%

(※財団法人 日本環境協会内 全国地球温暖化防止活動推進センター資料より)

* 発電電力の損失 発電電力の数値は下記損失を考慮しております。

①太陽電池の温度上昇による損失 ②パワーコンディショナによる損失 ③その他(配線・逆流防止ダイオード等)損失

* システムの容量は、JIS規格に基づいて算出された太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値です。

* 設置面積には、架台を含みません。

* 太陽電池モジュールの枚数や組み合わせ(直並列数)につきましては、実際の設置条件によって異なります。